

鉄筋コンクリート構造シンポジウム

RC 造構造設計の未来を探る

姉齒元建築士による RC 造建物の耐震偽装事件に端を発した今回の基準法改正は、構造設計者の取り巻く環境を大きく変化させた。本シンポジウムではこれらを総括しつつ、今後の RC 造建物の構造設計の進むべき方向を議論する。

<主催> 日本建築学会 構造委員会 鉄筋コンクリート構造運営委員会

日 時：2008 年 6 月 17 日（火）13:00～17:30

会 場：建築会館ホール（東京都港区芝 5-26-20）

<プログラム>

司会：井上芳生（都市再生機構） 記録：稲井栄一（山口大学）

- | | |
|-------------------------------|-----------------|
| 1. 主旨説明 | 平石 久廣（明治大学） |
| 2. 耐震偽装と基準法改正 | 福山 洋（建築研究所） |
| 3. 許容応力度計算による RC 構造計算の問題点 | 勅使川原正臣（名古屋大学） |
| 4. 基準改正後における RC 構造設計業務の現状と問題点 | 角 彰（竹中工務店） |
| 5. 適合判定サイドから見た RC 構造設計の問題点 | 大越 俊男（日本建築センター） |
| 6. RC 構造計算規準の改定 | 市之瀬敏勝（名古屋工業大学） |
| 7. RC 耐震規準における規定の意義 | 平石 久廣（前掲） |
| 8. 今後の RC 構造設計 | 壁谷澤寿海（東京大学） |
| 9. 総合討論 | |
| 10. まとめ | 倉本 洋（大阪大学） |

定 員：250 名（申込先着順）

参 加 費：会員 2,500 円 登録メンバー 3,000 円 会員外 3,500 円 学生 2,000 円

（資料代含む・当日お支払いください）

申込方法：E-mail または Fax にて、催物名称、氏名、勤務先・所属、同電話番号、E-mail アドレスを明記してお申し込みください。定員に達した場合は、お断りの方のみご連絡します。

申 込 先：日本建築学会事務局研究事業グループ 今井

E-mail: imai@aij.or.jp Fax: 03-3456-2058